

++++
「植物と人々の博物館メルマガ」 第9号 2015年12月6日発行
++++

早朝の小菅村は氷点下になり、霜も降りています。それでも、冬野菜はまだ元気になっています。

白菜、三浦大根はよく育ちました。大麦の育ちが良すぎるので、麦踏をしておきました。冬の間は月に1回程度しておかないと、霜柱によって麦が持ち上げられて、乾燥枯死してしまいます。

小麦も2品種播種してみました。穀物の自給も少しは試みたいです。

会員および配信を希望される方に公開活動ニュースなどをお送りします。ご関心のあるご友人に転送などでご紹介いただき、顔のない薄情な「マスコミ」ではなく、顔見知り信頼の「口コミ」で伝達していただけるとうれしいです。連絡先は下記メールアドレスです。

1. 日本村塾 *Nihonmura* College for Environmental Studies 再掲

伝統知を学び合うことで、「素のままの美しい暮らし」(*Sobibo*)を勧める。

参加希望者は木俣にメールください。kibi20kijin@yahoo.co.jp

1) 民族植物学ゼミ第2回

日時:12月19日(土) 13時から17時まで。参加費:300円(会場代など)。

場所:東小金井駅開設記念館/マロンホール会議室(詳細は添付地図)

読書会:推薦図書『シャーマンの弟子になった民族植物学者の話』、マーク・プロトキン著、築地書館。

上2200円、下1800円。上巻は木俣、下巻は松浦さんが担当します。現在6名の申込み。資料を用意しますので、図書の購入は不要です。気楽にご参加ください。

2) 扶桑くにゼミ第3回

日時:2016年2月予定、読書会:推薦図書:『銃・病原菌・鉄』、上1900円、下1900円、

ジャッレド・ダイヤモンド著、草思社、ほか検討中。ご意見があれば、お知らせください。

3) 自給農耕ゼミ第4回

来春予定、世話人は末村さん、宮本さん。

パーマカルチャーなど、話題にしてはいかがですか。ご意見をください。

2. 雑穀見本園

見本園には団子麦（もち性大麦）をまきました。日本で栽培されている雑穀6種とアマランサス、キヌアの採種をしました。来年用の種子が必要な方には少量なら差し上げられます。お知らせください。

3. 第9号雑穀特集英文は編集中です。第10号は2016年3月頃締切で原稿を募集します。

eメールなどで木俣までお申し込みください。バックナンバーは下記のHP 植物と人々の博物館

(ミュージアムグッズ)で読めます。冊子版の第1号はなくなり、第2~6号は若干の在庫があります。第7~8号はまだあります。

報告：

1) 森とむらの図書室の蔵書

藤野倶楽部の安心農園無形の家に藤野分室を置き、原沢文庫を順次移動しています。

2) 展示「雑穀街道」は藤野で継続しています。場所：相模原市緑区牧野藤野倶楽部百笑の台所に隣接した結びの家。

3) 生物多様性アクション大賞 2015 に応募しましたが、残念ながら審査員賞でした。

4) タイから、若林先生ご夫妻が小菅に12月5~6日に訪問しました。

予告：

1. 場の教育に関する国際シンポジウム (詳細は次号でお知らせします)

主催：エコプラス (自然文化誌研究会と伝統知を共同研究している親しいNPO)

趣旨：環境教育、野外教育、冒険教育、持続可能性教育、社会教育、開発教育、国際理解、

森のようちえん、地域づくり、地方再生、あちこちで地域とか場とかが議論されている。その地域や場を舞台として活動する人々をネットワークし、複合的継続的な学びの方向を探る。

日時：1月23日~24日 場所：早稲田大学

23日9:45 開会、趣旨説明

10:00 基調講演1 — インドのアンバさん

10:40 基調講演2 — 英国のサイモンさん

11:30 基調講演3 — 東工大桑子俊雄さん

13:20 大隈小講堂にて

話題提供 — ルースさん

14:00 頃から分科会

分科会 1 「学びと環境、地域開発」 (アンバさん)

分科会 2 「場と体験的学び」 (サイモンさん)

分科会 3 「日本各地の、風土、地域に根ざした学び」 (桑子さん)

分科会 4 「学校教育と体験的学び」 (ルースさん)

16 時頃、締め。懇親会

24 日 10:15 前日の分科会からの報告

11:15 パネル討議その 1 — 各分科会参加ゲストらからフィードバック

13:15 パネル討議その 2 — 昨日出された質問から、会場とのやりとり

14:50 終了。締めの言葉

2. 伝統智研究会

日時：1 月 28 日 (木) 18:00～ 終了後に新年会 (宴会) を予定

場所：神田のエコプラス事務所

.....

植物と人々の博物館は、山梨県小菅村で行っているエコミュージアム日本村 (トランジション小菅) のコア博物館です。

これは NPO 自然文化誌研究会のボランティアな公民館活動プロジェクトで、小菅村と東京学芸大学の社会連携に協力しています。

ご興味のある方が山村の素のままの美しい暮らし sobibo や伝統文化を村人から一緒に学び、

継承するプロジェクトに参加して下さると、とてもうれしいです。

自然文化誌研究会が国内外の調査研究によって収集した民具、雑穀標本、図書、雑穀栽培見本園などを山梨県の山村小菅

の暮らしと関係づけて展示、整理、解説しています。雑穀栽培講習会、日本村塾 3 ゼミ (自給農耕、民族植物学、扶桑こく)、

環境学習セミナーなども開催しています。雑穀街道 (さあ山村) を、都市から農山村に暮らし向きを求め、

鎌倉街道 (いざ鎌倉) と反対方向に創ることを提案しています。

現在の日常活動 ボランティア研究員として、協力していただけるとうれしいです。

1. 雑穀栽培見本園の管理
2. 民具展示の整理、特別展の企画・作製
3. 雑穀標本の整理
4. 農・林学、植物、環境、教育、人類学、およびインド・タイ・中央アジアなど海外関係図書の整理、番号付をしています。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳、小川泰彦

ミュージーズ研究会（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

事務局：黒澤友彦（小菅村在住） npo-inch@wine.plala.or.jp

植物と人々の博物館：館長 木下善晴（小菅村在住）

研究員、日本村塾生：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

連絡先：木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

ホームページ：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>
